

秋田駒ヶ岳で山開き

6月1日、秋田駒ヶ岳の山開きが行われ、関係者など約120人がシーズンの安全を祈願しました。当日は、あいにくの天候に見舞われ、八合目休憩所で神事が行われました。終了後には、(一社)田沢湖観光協会の佐藤和志会長が「昨年NHKで放送された『にっぽんトレッキング100』という番組で、八幡平のコースが一番人気でした。山ブームが再び起こりつつある今こそ、山をぜひ楽しんでもらいたい」とあいさつしました。



シーズン中の無事故を祈願しました。

また、門脇市長は「駒ヶ岳は何回登っても違う喜びを与えてくれる山です。私は高山植物がこれだけ群生している山は他には知りません。この山を楽しんでくれる方々が全国にたくさんいることを誇りに思っています。仙北市内で駒ヶ岳の美しさ、楽しさを享受できていない方々にも楽しんでもらいたい」と祝辞を述べました。例年行われてきた式典後の記念登山は、昨年に続き悪天候のため、中止となりました。



山開きを記念して、関係者がテープカット。

第6回たざわこクラフト市



手づくりの陶器や小物類などを集めた「第6回たざわこクラフト市」が5月20日から2日間、思い出の潟分校で開催され、約2千人が訪れました。実行委員長を務める桜田祐美さんは「丁寧に作られたものを長く使ってもらいたいという思いを、潟分校自体が表している。たくさんのお客様にその思いと手作りのぬくもりを感じてもらえたらうれしい」と話しました。



今年は県内外から約47店舗が出店。桜田さんは「なるべく新しいお店を選び、常連さんも目を引く工夫をしている」と話しました。

にしきのフラワーロード105



5月28日、国道105号沿い約4.6km区間にマリゴールドの苗が植えられました。植栽を行ったのは、西明寺中学校の生徒や地元住民の方々と、道路両脇の花壇に、オレンジと黄色のマリーゴールドの苗を植えていきました。また、この一斉植栽に合わせ、花苗の販売イベント「花の市」が市役所西木庁舎駐車場で開催され、花の苗を買い求める人で賑わいました。



手際よくマリゴールドの苗を植える参加者たち。

生保内小学校で記念植樹の会



子どもたちの成長と共に
5月26日、生保内小学校中庭で、昔ばなし大学創立25周年を記念した植樹の会が開催されました。これは生保内地域運営体の主催によるもので、同大学の創設者・小澤俊夫氏や大仙市出身の歌手・青谷明日香さんをはじめ、生保内地域運営体、生保内小学校の児童など約230人が参加。小澤夫妻と代表児童がエドヒガンザクラの苗木1本を丁寧に植樹しました。



青谷明日香さんの代表曲「あんべいいな」を全校児童が歌う中、心を込めて苗木を植える児童たち。

昔ばなし大学 25周年記念大会



昔ばなしを学び伝える
5月27日・28日に、昔話を語り伝えることを目的とした昔ばなし大学の創立25周年を記念する秋田大会が仙北市民会館で開催され、全国から約550人が参加しました。27日は創設者の小澤俊夫氏による講演が行われたほか、思い出の潟分校で交流夕食会が行われました。28日は、受講者が日頃研究を進めてきた地方の昔話について、地元の言葉を変えながら発表しました。



「日本の昔話と伝説 子どもたちへの贈り物」と題した講演を行う小澤俊夫氏。

秋田仙北会高橋キヌ子社中 民謡民舞少年少女北東北 大会で優勝

4月30日、北秋田市で開催された(公財)日本民謡協会主催の「民謡民舞少年少女北東北大会」で、秋田仙北会高橋キヌ子社中の皆さんが、民謡団体と個人の部でそれぞれ優勝し、8月に東京都で開催される全国大会へ出場が決定しました。



ひでこ節を踊り、個人の部で優勝した佐川和花さん。



団体の部(秋田おばこ節)で優勝した皆さん。「全国大会でも入賞できるように、練習を重ねて頑張ります」と笑顔で話しました。左から川越聖来さん(角館中1年)、高橋翔愛さん(神代中2年)、佐々木菜奈さん(神代小5年)、佐川和花さん(生保内中2年)、川越聖音さん(角館中1年)。

地域で子どもたちを守る 生保内小学校で 交通安全教室



横断歩道の渡り方を学ぶ児童たち。

5月24日、生保内小学校グラウンドを主会場に、交通安全教室が開催されました。当日は、全校児童とだしのこ園の園児たちが参加し、学年ごとに交通安全について学びました。交通安全協会、交通安全管理者協会関係者などの協力により、グラウンドは訓練用の路上に整備され、自転車専用通路や信号機付きの横断歩道が設置されました。児童たちは正しい横断歩道の渡り方や安全な自転車の乗り方について、熱心に指導を受けていました。

ドローンテクニカルチャレンジ in 仙北市

DRONE TECHNICAL CHALLENGE

主催：ドローンテクニカルチャレンジ実行委員会 共催：秋田ドローンコミュニティ・株式会社 skyer・仙北市

7月22日[土] 10:00～17:00 ▶ 公式練習・学生部門競技

7月23日[日] 9:00～15:00 ▶ 一般部門競技

場所 田沢湖スポーツセンター 体育館 (田沢湖生保内字下高野73-75)

参加資格

【学生部門】 学生で構成されるチーム対抗戦。

▶ 1校1チームのエントリーとし、原則5人で構成すること。

▶ 使用機体はDJI Phantom3 professional(大会本部で貸出)

【一般部門】 ドローン運用歴2年未満の個人戦。

▶ 使用機体は各自で持参すること。

※機体損傷に備え、保険加入をお奨めします。

定員・参加料

【学生部門】 4チーム / 無料

【一般部門】 20人 / 5,000円

※仙北市民枠：5人(無料)、応募多数の場合は抽選。



背景・目的

災害や事故が発生し、陸路での現場到達が困難な状況において、ドローンを操縦し、現場の状況把握や人命救助の一翼を担う、そんな人材の育成を視野に入れ、本競技会を開催します。

競技会は、近未来技術の更なる理解と浸透、賑わいの創出を図るとともに、ドローンの活用の可能性を広げ、趣味の領域に留まらず、幅広い分野で活躍する人材輩出に寄与することを目的としています。

協賛のご案内

ドローンテクニカルチャレンジ実行委員会では、競技会の開催にご協賛いただくことができる企業様(1口30,000円～)、個人様(1口1,000円～)を募集しています。詳細についてはお問合せください。

【お知らせ】ドローン技術に関する講演会の開催について

ドローン技術に関する現状と利用方法について講演会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

【日時】 6月21日(水) 13時～14時30分

【場所】 田沢湖総合開発センター 2階 農林研修室

【講師】 鳥潟與明氏(東光鉄工株式会社 UAV事業部 シニアマネージャー)

【申込・問合せ】 仙北市地方創生・総合戦略室

☎43-3315

優勝賞品

【学生部門】 トイドローン1人1機(Parrot Mambo)

【一般部門】 高性能ミニドローン

(DJI Spark Fly More コンボ)

ドローンテクニカルチャレンジに関する問合せ

▶ ドローンテクニカルチャレンジ実行委員会

E-mail info@dtc.life HP http://www.dtc.life/

▶ 仙北市地方創生・総合戦略室 ☎43-3315

ねんりんピック秋田2017ウォークラリー交流大会

「一般参加の部」の出場選手を募集します!ご家族やお友達同士でお誘い合せのうえお申し込みください。たくさんのご参加をお待ちしています!

【日時】 9月10日 受付8:00～、競技10:00～

【場所】 角館高校定時制課程校舎駒草キャンパス、角館町内特設コース

【申込期限】 8月4日 曜

【問合せ】 ねんりんピック秋田2017

仙北市実行委員会事務局

(仙北市長寿支援課内)

☎43-2281

その他詳細は、広報に折り込みのチラシをご覧ください。



第32回秋田県中学校春季軟式野球大会 神代中学校が初優勝

5月21日、湯沢市の稲川野球場で「第32回秋田県中学校春季軟式野球大会」の決勝が行われ、神代中学校が6対1で八竜中学校を下し、初優勝しました。



初優勝を飾った神代中学校野球部の選手たち。



5月22日、市役所田沢湖庁舎に優勝報告に訪れた平岡恵太くん、藤井優矢くん、佐藤光哉くん(右から順に)。

「夏の大会に向けて抱負を一言」
▽平岡恵太くん(レフト)
「今大会で達成できたことを今後も続けて夏の大会に挑みたい。バントや守備のシフトなど、細かい所を改善して春よりも良い形で臨みたい」
▽藤井優矢くん(ピッチャー)
「春の大会で自分たちができたことを夏の大会でもやっていきたい」
▽佐藤光哉くん(セカンド)
「守備や打撃などの細かい部分を修正して、夏の大会に臨みたい」

第2回

仙北市移住者交流会

5月14日、市内のレストランで「第2回仙北市移住者交流会」が開催されました。A&K工房代表の土屋和久さんが主催したこの交流会には、仙北市に移住された方々、移住をサポートする方々など17人が参加。新緑のこの時期が美しく移住を決めた話や除雪・冬場の対策についての話など、それぞれの思いや工夫を凝らした話題で盛り上がりました。

今後は、季節に応じた体験イベントを含めた形で、移住者交流会を開催していく予定です。



交流会では、貴重な体験談を聞くことができました。

関東地区松木内中学校同窓会 第20回総会・懇親会

5月21日、東京都内のホテルで、関東地区松木内中学校同窓会の総会並びに懇親会が開催されました。当日は60人の会員が参加。久しぶりに再会する懐かしい面々と思い出話に花を咲かせたり、アトラクションで民謡やカラオケなどを楽しんだりしながら、旧交を温めていました。



参加者は交流を深めながら、楽しい時間を過ごしました。